

男ひとりさま 幸せの処方箋／五木寛之 vs 藤田孝典 下流老人 対談

# 週刊朝日

年賀状  
こうしてやめる

スクープ

兵庫県警  
警官3連続自殺の怪

追悼 加藤治子  
山田洋次、風吹ジュンが語る

11・20

380円

上川隆也

南スーダン「駆けつけ警護」で現実味

自衛官「戦死」  
補償どうなる

大正11年2月25日第3号紙便物認可登録53038号  
2015年11月20日発行 毎週火曜日発行

11月10日発売

# 過剰な延命をしない 安らかに枯れる最期

終末期になつたら管だらけの延命治療は断つて、自然に枯れるような最期を迎える。こうした希望を叶えるために必要な準備と、在宅診療医の役割とは。兵庫県尼崎市の開業医、長尾和宏医師に聞いた。

「リビング・ウイル」と  
「かかりつけ医」が鍵

「死ぬときはピンピンコロリが理想」と

とは、よく聞く言葉です。しかしピンピン元気な人がコロリと死ぬというのは事故や発作などの「突然死」であり、これに該当するのは亡くなつた方の5%に過ぎないことが統計学的にわかつています。残り95%には死に至るまでの療養期間、いわゆる終末期があるわけですが、この95%がどういう最期を迎えているのかというと、およそ80%の人が病院で点滴や胃ろうなど様々な延命治療の管につながれたままで亡くなっています。多くの人が「過剰な延命治療をしない自然な死」を願つても、現実は真反対です。これはほとんどの現代人にとって死がタブーであるので、自分の望む最期の

希望を元気なときから周囲に伝えなかつたことに原因があります。

では自分の最期を自分で決めるためには必要なことは何でしょうか。私は

「リビング・ウイル」と「かかりつけの医師」が鍵になると考えています。「リビング・ウイル」とは死に至ることで、看取りの実績があること、いざというときに専門医を紹介できるほど顔が広いこと、そして看取つてもらうためにも自分より10歳くらい若いことが挙げられます。こ

の条件がそろつていれば安心です。自宅で最期を迎える場合にはとくに本人、家族、医療者、介護者ら

が一緒になつて終末期について話し合う「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」が不可欠であり、かかりつけ医は重要な役割を果たすで

しょう。大病院の専門医に対する評価が高い日本ではありますが、総合的に判断できる、ジエネラリスト

もう一つがかかりつけ医師の存在

シニアライフ  
充実読本

2015年  
秋

です。後期高齢者になつたら、一生

お付き合いできる主治医を持つてい

ただきたいのです。望ましい条件と

しては、近くにいて往診をしてくれ

ること、看取りの実績があること、

いざというときに専門医を紹介で

きるほど顔が広いこと、そして看

取つてもらうためにも自分より10歳

くらい若いことが挙げられます。こ

の条件がそろつていれば安心です。

自宅で最期を迎える場合にはとく

長尾 和宏

ながお・かずひろ／医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長、日本尊厳死協会副理事長、日本ホスピス・在宅ケア研究会理事、医学博士、東京医科大学客員教授。『「平穏死」10の条件』(ブックマン社)、『満足して大往生する101のコツ』(朝日新聞出版)など著書多数。

